

第32号

令和3年5月

発行

いきいき広域

隠岐広域連合広報誌



隠岐広域連合介護保険課『島の福祉事業所案内所』

- ・ 隠岐広域連合介護保険課では令和元年度より福祉人材の確保、離職防止及び育成を柱とした総合的な取り組みを実施しています。
- ・ 「育児も一段落して働きたいけど福祉の経験がない」など不安を抱えている方、是非一度ご相談ください。



○主な内容○

- ・ 令和3年度隠岐広域連合の取り組み
- ・ 令和3年度隠岐広域連合予算の概要
- ・ 隠岐広域連合の行政機構と職員配置
- ・ 新規採用職員紹介/退職者報告/
お知らせ
- ・ 議会報告
- ・ 消防署への緊急通報

隠岐4町村総人口

総人口	19,247人
男	9,520人
女	9,727人
世帯数	10,138戸 (令和3年3月末現在)

発行：隠岐広域連合
住所：島根県隠岐郡隠岐の島町都万2016
TEL：08512-6-9150（代表）
FAX：08512-6-3330
ホームページ
<https://okikouiki.jp>



令和3年度 隠岐広域連合の取り組み

「安全・安心の生活」確保

「地域振興」の一層の充実をめざして

令和3年度の隠岐広域連合事業全般にわたる方針については、新型コロナウイルス感染症への対応を十分に考慮しつつ、引き続き「第4次隠岐広域連合広域計画」及び「第3次隠岐広域連合行政改革大綱」に基づき、効率的かつ効果的な事業運営を進めます。

各事業の推進に当たっては、隠岐広域連合の使命を果たすべく、あらゆる角度から検証・検討を進め、大胆な施策を展開するとともに、広域行政が円滑に推進できるよう努めます。

隠岐航路事業

隠岐航路については、引き続き隠岐航路振興協議会などにおいて、指定管理者である隠岐汽船株式会社及び関係機関と協議・連携を図るとともに、隠岐航路のあり方検討業務委託事業において、隠岐島の発展のため、持続可能で利便性に優れた隠岐航路を目指して取り組みます。



知的障がい者支援施設「仁万の里」事業

令和3年度は、車イス用特殊浴槽設置工事及び就労B型事務所棟改修工事を行い、利用者の生活環境並びに就労環境の改善に取り組みます。

また、福祉職員が必ずしも充足していない状況にあるため、人材確保対策を講じるよう、指定管理者である社会福祉法人博愛及び関係機関と協議・連携を深め、隠岐圏域の障がい者福祉の中核施設として、効率的かつ効果的な運営と施設づくりを進めます。



レインボープラザ事業

指定管理施設であるレインボープラザについては、令和3年度に共用部トイレ改修工事及び厨房空調システム更新工事を予定しており、利用者の満足度向上に取り組みます。

引き続き、指定管理者である株式会社隠岐商事との連携や協議をはじめ、関係機関と調整を図りながら、島民に選ばれる魅力ある施設運営に取り組みます。



介護保険事業

介護保険制度は創設以来、21年が経過しましたが、この間の急速な高齢化により要介護者の増加と、生産年齢人口の減少に伴う介護給付費の増加、介護保険料の上昇並びに、介護従事者の確保など、様々な課題が顕在化しています。

隠岐圏域におきましては、高齢者人口が緩やかに減少しますが、後期高齢者人口は徐々に増加し、2035年には高齢者のうち、70%以上の方が後期高齢者となります。加えて、生産年齢人口の減少に伴う介護の担い手不足が予想されており、これらを見据えたサービス基盤の整備及び人材確保対策の強化が必要となっています。

令和3年度は、「第8期介護保険事業計画」の初年度となります。地域共生社会の実現に向け、新たな事業計画に基づき、関係機関と連携を深めながら、重点施策にある自立支援、介護予防・重度化防止の推進を積極的に進めるとともに、担い手不足の課題を乗り越えるための、地域包括ケアシステムを支える人材の確保に向け、強力に取り組みを進めます。

また、介護給付の適正化に努め、保険料の収納については、全庁での取り組みを継続し、皆で支え合う介護保険制度の基本理念に沿って、より公平性を維持するために収納率の向上に努めます。

病院事業

病院事業については、「島根県地域医療構想」及び、病院ごとに策定した「新公立病院改革プラン」を基に、安全・安心の医療提供体制の確立に取り組みます。

医師・医療技術者等確保対策については、島根県はもとより、大学等との円滑な連携体制の維持・充

実に努めるとともに、独自の医師招聘対策を強化して取り組みます。

また、看護師等の医療従事者確保対策については、隠岐島出身関係者との連携や情報収集を深め、確保につなげる傍ら、隠岐島出身者に限らず、幅広く確保に向けて取り組みます。

精神科医療提供体制については、令和3年度も現状の体制を確保することができたところですが、令和4年度以降は不透明な状況にあるため、引き続き関係機関と連携を図り、鳥取大学も参画している隠岐圏域精神科医療支援連絡会議を軸に、精神科医療提供体制の強化に向けた取り組みを進めます。



【隠岐島前病院事業】

令和3年度の診療体制については、常勤医師7名と非常勤医師による8診療科の維持に努め、専攻医3名の研修受け入れを実施することで、常勤医師の業務軽減を図ります。

医療スタッフについては、看護師4名を採用しましたが、今後も産休・育休や定年退職などが見込まれており、看護助手や調理員も不足している状況のため、引き続き全国に向けた情報発信や、院内、院外研修等による人材育成に取り組み、島前地域の中核病院としての役割を果たしていきます。

【隠岐病院事業】

令和3年度の診療体制については、島根県、大学等の支援をいただき、令和2年10月より開始した総合診療科を含め、17診療科の維持に努めます。

医療スタッフについては、依然として確保困難な状況が続いていますが、今後増えて行く認知症に対応するための精神保健福祉士の採用をはじめ、必要な職種の確保に向けて、更に組織一丸となって人材確保及び人材育成に取り組みとともに、関係機関等の協力を仰ぎながら、医療提供体制の確保に努めます。

病院経営については、令和元年度から経営改革コンサルタント委託業務を導入し、経営改革計画を策定、現在は実行段階に移っていますが、新型コロナウイルス感染症への対応を十分に考慮しつつ、計画の確実な遂行に向けて取り組みます。

また、医師の働き方改革については、2024年度の法改正に向けて、国・県からスケジュールが示され、令和3年度は具体的なスタートの年となります。医師の年間時間外労働時間の制限については、宿日直を含めた医師の総労働時間の負担軽減の一環として、宿直翌日の勤務免除やタスクシフト（業務移管）、タスクシェアリング（業務共同化）等により、効率的な業務の推進に向けて、令和2年度に島根県が策定した「医師確保計画」も含め、関係機関との連携を図り、「この島に住む、安心の医療」の提供に向け、職員一丸となって取り組みを進めます。

消防事業

さまざまな災害が各地で発生し、更には新型コロナウイルス感染症拡大が懸念されるなか、多くの尊い人命、貴重な財産が失われており、消防が果たすべき役割は益々重要であると考えます。

隠岐広域連合管内においても、令和2年8月には50年に一度の記録的な大雨が降り、隠岐の島町では大きな被害を受けました。このような豪雨災害は、今後増加すると予想されており、水害時の安全対策に万全を期すとともに、消防用ドローンを活用し、災害時の情報収集活動の充実に取り組みます。

予防業務については、防火・防災指導と、防火対象物に対する指導を強力に進めるとともに、引き続き住宅用火災警報器の設置率の向上を図り、住宅火災による死傷者や被害の軽減に取り組みます。

危険物の規制・指導については、施設への立入検査や危険物取扱者の研修等により、なお一層の安全管理の徹底が図られるよう指導に取り組みます。

救急救命体制については、高齢化が進み、救急出場件数が増加していることから、救急救命士の養成を計画的に行い、指導救命士を中心とした教育体制の充実を図り、現場対応力の向上と救命率の向上に努めるとともに、聴覚障がい者等からの119番通報への対応を強化するため、スマートフォン等で通報できる、Net119（ネットイチイチキュー）緊急通報システムを導入し、安全かつ迅速に、高度な応急処置が実施できる体制の構築に取り組みます。

また、隠岐島消防署島前分署及び海士出張所の老朽化に伴う庁舎整備については、構成町村と十分な協議を進めます。



令和3年度

隠岐広域連合当初予算の概要

令和3年度の隠岐広域連合一般会計、介護保険事業特別会計、隠岐島前病院事業特別会計、隠岐病院事業特別会計、消防事業特別会計の予算概要をお知らせします。

隠岐広域連合の令和3年度歳出予算総額は、91億1,531万円です。前年度比1億7,066万円の増となっており、隠岐病院事業特別会計における給与費や建設改良費の増が主な要因です。

91億1,531万円の使い道

令和3年度 隠岐広域連合各会計の歳出予算

■一般会計

議会費	231万円	議員報酬、議会運営費等
総務費	4億6,002万円	人件費、指定管理料等
民生費	4,731万円	介護保険事業繰出金
衛生費	180万円	救急医療対策事業費
公債費	2,960万円	地方債償還金
予備費	30万円	予備費
合計	5億4,134万円	

■介護保険事業特別会計

総務費	1億176万円	人件費、介護認定審査会費等
保険給付費	30億5,022万円	介護サービス給付費
地域支援事業費	2億2,412万円	介護予防事業費等
基金積立金	2万円	介護給付費準備基金積立金
諸支出金	948万円	国県返納金、保険料還付金
特別対策事業費	10万円	利用料減免事業費
合計	33億8,570万円	

■隠岐島前病院事業特別会計

医業費用(3条)	8億9,972万円	人件費・材料費等
医業外費用(3条)	1,834万円	企業債利息等
特別損失	0万円	特別損失
建設改良費	4,673万円	医療機器購入費等
企業債償還金	5,684万円	地方債償還金
投資	301万円	修学資金貸付金
合計	10億2,464万円	

■隠岐病院事業特別会計

医業費用(3条)	31億8,950万円	人件費・材料費等
医業外費用(3条)	7,747万円	企業債利息等
建設改良費	1億3,018万円	医療機器購入費等
企業債償還金	1億707万円	地方債償還金
投資	1,720万円	修学資金貸付金
合計	35億2,142万円	

■消防事業特別会計

総務費	5億8,721万円	人件費、機器保守料等
事業費	5,500万円	車輛更新費
合計	6億4,221万円	

病院事業

隠岐病院、隠岐島前病院の二つの病院を合わせた病院事業の歳入総額は43億8,655万円で、入院収益と外来収益を合わせた医業収益が26億8,323万円（61.2%）、構成団体負担金が12億9,762万円（29.6%）となっています。

構成団体負担金の内訳は、島根県が2億1,950万円、隠岐の島町が7億8,746万円、海士町が1,706万円、西ノ島町が2億6,465万円、知夫村が895万円となっています。

歳出総額は、45億4,606万円で、医師、看護師などの給与費が25億4,840万円（56.1%）、薬・給食材料費等の材料費が、6億4,906万円（14.3%）です。その他の医業費用としては医療機器の点検保守料等の経費が8億9,176万円（19.6%）となっています。また、建設改良費は1億7,691万円（3.9%）となっており、主なものとして下記の設備等を予定しています。

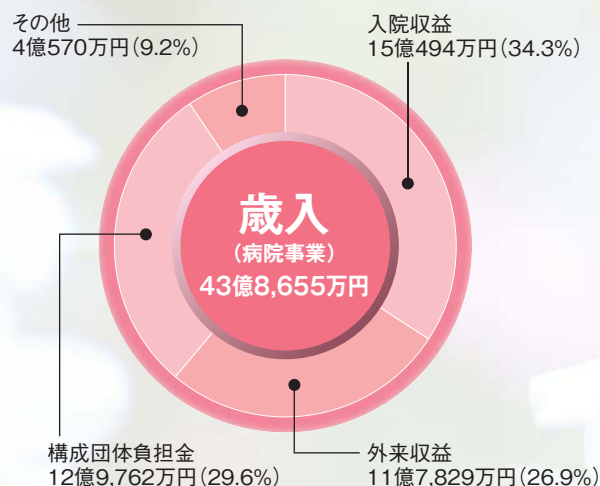
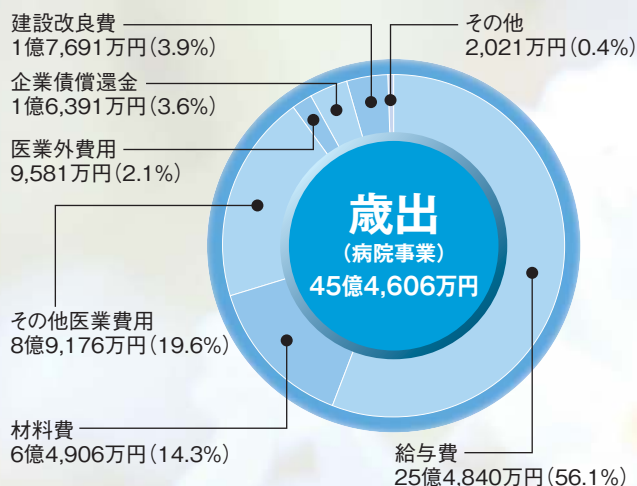
（隠岐病院）

- ・血球計数装置
- ・乳房用X線診断装置
- ・臨床化学自動分析装置
- ・眼科用レーザー光凝固装置

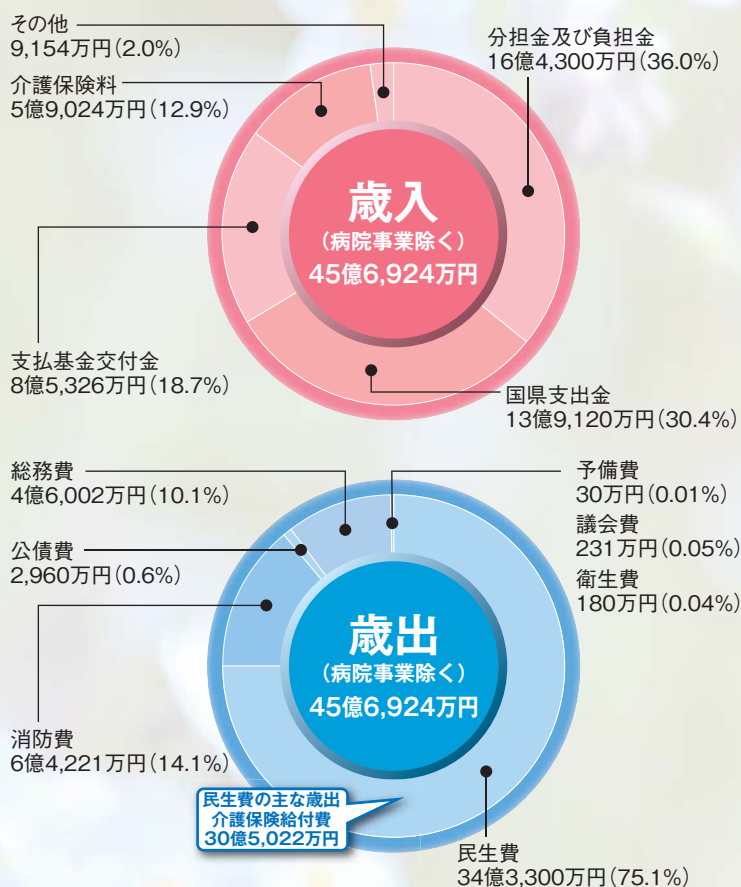
（隠岐島前病院）

- ・電子カルテシステム
- ・まめネットシステム
- ・眼底・前眼部カメラ
- ・移乗介助用リフト

歳入から歳出を差し引くと1億5,951万円の赤字となりますが、現金支出を伴わない支出（減価償却費・資産減耗費・繰延勘定償却等）を除くと収支の均衡している予算となっています。



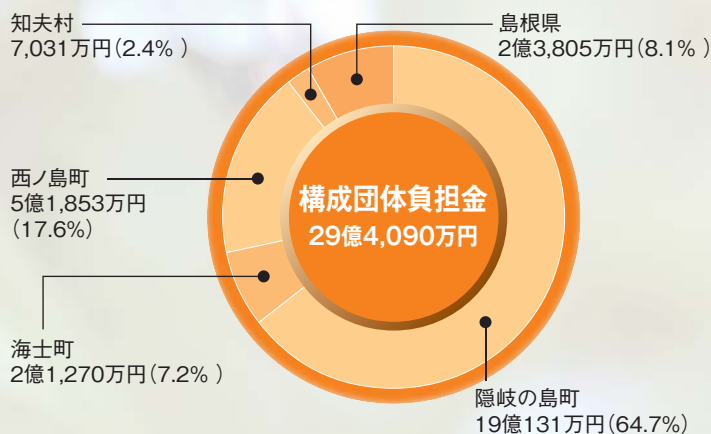
病院事業以外の事業



病院事業以外の歳入総額は、45億6,924万円で、その内訳として、①島根県及び4町村からの負担金、②介護保険の給付に係る財源となる介護保険料・支払基金交付金・国県支出金、③その他に分けられ、金額の内訳は左図のとおりです。

また、歳出の内訳として、①民生費（介護保険給付費・介護保険課職員人件費・地域支援事業費等）、②公債費（広域連合で仁万の里施設整備の際に借入をしたお金の返済費用）、③総務費（総務課職員及び仁万の里への派遣職員の人件費、超高速船指定管理料等）、④議会費（隠岐広域連合議会の運営費等に係る経費）、⑤衛生費（在宅当番医制に係る委託料）からなり、金額の内訳は左図のとおりです。

構成団体負担金



構成団体負担金は、隠岐広域連合の構成団体である島根県及び隠岐4町村からの負担金で、29億4,090万円となっています。

これは、事業ごとに人口、対象者数、利用率、交付税算入額等を基に負担割合を定め算定しています。前年度に比べて9,814万円の増額となっていますが、これは、隠岐病院事業特別会計の給与費や建設改良費の増が主要要因です。

隠岐広域連合の行政機構・職員配置を紹介します

広域連合長：池田高世偉（隠岐の島町長）

令和3年5月1日現在

副広域連合長：大江和彦（海士町長） 升谷 健（西ノ島町長） 平本伴佳（知夫村長） 川崎康久（常勤）

事務局

() は兼務

事務局長：野津信吾

課 名	所属長	係 名	係 長	係 員
出納室(議会事務局) ☎08512-6-9150	藤野則子 (会計管理者)			高井美雪
総務課 ☎08512-6-9150	和田哲也	総務係	西村洋一	田中里沙
		企画財政係	(和田哲也)	木村靖志 村上 翔
		隠岐町村会 (島根県離島振興協議会)		(高井美雪)
(福) 博愛へ派遣	安井 敏			渡辺厚子 赤沼百合子 野津恵子
介護保険課 ☎08512-6-9151	藤野 実	介護保険係	山崎一美	速水裕子 井奥秀敏 安井里佳 小中 凌 中村峻太郎

隠岐病院 ☎08512-2-1356

() は兼務 □ は任期付職員 ■ は再任用職員

院長：長谷川明広

統括副院長：松尾 進 副院長：□有田茂夫 □齋藤英典【事務部門】

部署名	所属長	係 名	責任者	係 員
医療安全管理室 (感染対策部門含む)	(松尾進)	医療安全管理者	□崎 美樹	長谷川喜映子
		医療部門	(助永親彦)	
		感染部門	(小田川誠治)	
		医療機器部門	(西岡博志)	
		医薬品部門	(増谷秀樹)	
		看護部門	(福本直美)	
部署名	所属長	科・室名	部長・室長	医 長・医 員
診療部	部長 加藤一朗 副診療部長 助永親彦 小田川誠治	総合診療科	統括部長 (加藤一朗) 部長 (小田川誠治)	角 芽美 小川将也 小川敦子 鈴木真紀 森江祥平 神戸勝世 (助永親彦) (芹田晃道)
		内科	(小田川誠治)	(総合診療科医師)
		神経内科	(島根大学医学部附属病院・隠岐島前病院からパート診療)	
		腎臓内科	(小田川誠治)	(総合診療科医師)
		糖尿病・内分泌内科	(五箇診療所からパート診療)	
		小児科		阿部恭大
		精神神経科	(□有田茂夫)	
		外科	(松尾 進)	
		整形外科		松本亮紀 牛尾公典
		産婦人科	(加藤一朗)	佐藤絵美 (長谷川明広)
		眼科		高梨菜穂
		耳鼻咽喉科	(島根大学医学部附属病院からパート診療)	
		泌尿器科	(島根大学医学部附属病院からパート診療)	
		皮膚科	(鳥取大学医学部附属病院からパート診療)	
		歯科口腔外科	金子一朗	高橋尊史
		麻酔科	(助永親彦)	
		リハビリテーション科		(松本亮紀) (牛尾公典) (長谷川明広) (総合診療科医師)
		診療支援室	芹田晃道	
部署名	所属長	科 名	科 長	係 員 []は副科長
医療技術部	部長 増谷秀樹 次長 齋藤 靖	薬剤科	(増谷秀樹)	池田枝里子 木瀬 歩
		放射線技術科	(齋藤 靖)	池田和也 坂田匡弘 磯辺直哉 原田大輝 齋藤優衣
		検査技術科	赤田宏行	(齋藤 靖) 藤野利恵 泉 恵 橋本詩乃
		リハビリテーション技術科	(齋藤 靖)	[高村知秀] 中尾栄治 長崎正義 横地 悠 小川 勝 八原未来 山根由依 岩水太一
		臨床工学科	(増谷秀樹)	[西岡博志] 松田章利 吾郷啓介 福本大和
		栄養管理科	(増谷秀樹)	高梨史菜
		歯科技術科	(増谷秀樹)	村上春代

部署名	所属長	科 名	師 長	係 員 []は副師長
看護部	部長 福本直美 次長 河田真紀	外来看護科	田尻友子	[八幡弥生] [松林かおる] (杉原幸子) 三橋志穂 福浦祐子
				野津美紀子 高雄由香 ■深瀬芳枝 ■青砥優子
		手術室・透析室看護科	藤谷花美	[村上 聡] [岡島かおり] 櫻井鈴代 岩水 潤 樋口亜沙美
				山根智絵 原いずみ 小村恭乃
		三階東病棟看護科	横地明子	[野津直美] [村上由美子] 山西優子 西田悦規 恵 智美
				永海陽子 吉田智英 深瀬静枝 中上久美子 山本美枝子
				■齋賀京子
		三階西病棟看護科 (助産科含む)	高村浩美	[石田絵美] [藤田美紀] 古川みね 田中啓子 加藤真紀子
				中尾あすさ 山根千穂 森 恵 若葉志保 宇野えり
				松本和美 山根 妙 坂口恵子 篠原やつき 平田弘美
				黒崎典子 磯見春佳 村上真琴 塩尾亜寿紗 磯辺未来
				濱田奈々子 増原 葵 木田麻里恵
				【助産科】 (高村浩美) (古川みね) (田中啓子) (加藤真紀子)
				(中尾あすさ) (山根千穂) (森 恵) (若葉志保)
		四階病棟看護科	野津美和	[石橋清美] [村上智恵子] 藤田泰代 澤尾直美 芹田久美子
				堤 典子 河瀬幸子 石井百理 黒崎あい 村上雅美
				松林 優 坂根清美 池田麻衣 平田めぐみ 西 智美
早川由佳 重栖奈々重 小村繭子 濱田雄馬 池田未希				
佐々木沙織 石川文香 小村 奨 大庭史紘 野津里穂				
平木 唯 吉本冬実 萬 百香 船田萌加				
事務部 事務部長：齋賀光成 ()は兼務				
部署名	所属長		課長補佐・係長	係 員
総務課 ☎08512-3-1811	(齋賀光成)	総務係	山下幸代	岡田早兄子 村上英子 杉浦翔子 門脇淳平 増本悠磨
経営課 ☎08512-3-1811	原 幸一	経営業務係	中村 一	横地正一郎 野津 晶 浅生 偉 野津雅人 藤野輝男
医事課 ☎08512-3-1622	山崎 章	医事係	石田辰也	川畑富美子 佐々木朋哉 (長谷川喜映子)
地域連携部 ()は兼務				
部署名	所属長	係 名	室長補佐	係 員
地域連携室 ☎08512-3-1770	(加藤一朗)	地域連携室	上野俊之	松浦豊多
				杉原幸子 (横地明子) (福浦祐子)
				米澤英里子 齋藤拓也 金阪幸之 日野聖子
島の医療人育成センター ()は兼務				
部署名	所属長	係 名	係長	係 員
島の医療人 育成センター	センター長 (助永親彦) 副センター長 (加藤一朗) (福本直美) (増谷秀樹)	島の医療人育成センター	主任係長 (上野俊之) 係長 (山下幸代)	(増本悠磨)

隠岐島前病院 ☎08514-7-8211 ()は兼務				
院長：黒谷一志 参与：白石吉彦				
部署名	所属長	科 名	科 長	係 員
医療安全管理室 (感染対策部門含む)	(黒谷一志)	医療安全管理者	(濱田拓史)	
		院内感染管理者	(徳若聡子)	
診療部	(黒谷一志)	内科	(黒谷一志)	(白石吉彦) (黒谷一志) (福田聡司) 福田瑤子 簡野泰光 (竹下光英) 木田川幸紀
		外科		(黒谷一志) (福田聡司) (福田瑤子) (簡野泰光) (木田川幸紀)
		小児科		(竹下光英) (福田聡司) (木田川幸紀) (福田瑤子)
		耳鼻咽喉科		非常勤医師
		整形外科		松江赤十字病院から非常勤医師
		産婦人科		隠岐病院から非常勤医師
		精神科		非常勤医師
		眼科		鳥取大学医学部附属病院から非常勤医師
	派遣	知夫診療所		竹下光英 (簡野泰光) (木田川幸紀)
		浦郷診療所		福田聡司 佐藤瑠璃香 北村 亮

「 」は海士町からの派遣職員 []は知夫村からの派遣職員 ()は兼務 ●は会計年度任用職員 ■は再任用職員

部署名	所属長	科 名		係 員
医療技術部	(黒谷一志)	薬剤科		嶋崎裕子
		検査科		白野明子
		リハビリテーション技術科		濱田拓史 向原翔子 藤原 翼 間 康一 畑中聡志
				岡本亜弓 伊藤光輝 「福田裕子」「中川貴史」
		栄養科		杉山晴美 高木絢加 志茂結花 ●藤井礼子 ●宇野絹代
				●白野美幸
	放射線技術科		非常勤技師	
部署名	所属長	科 名		係 員
看護部	家中ふみ代	一般病棟看護科		徳若聡子 滝下雅美 奥本良美 多賀 瞳 安達周子
				北条 綾 門野千尋 島本由希子 板橋奈津子 佐藤江里子
				高橋ルミコ 前川久美子 ●申崎千尋 ●仁井瑞紀 ●中香緒里
		療養病棟看護科		(島本小百合)(上原 彩)(赤澤啓吾)(原 智美)(山口庸子)
				(桶谷結衣) ●吉田文恵 ●小島一二美 ●福岡さおり ●長府 幸
				●濱田美恵子 ●宇野 遥
		外来看護科		島本小百合 上原 彩 赤澤啓吾 原 智美 山口庸子
				桶谷結衣 ■佐藤優子 ■平木マリ子 ●梶谷千鶴 ●五十嵐智子
	[野田淳子]			
	訪問看護科		(島本小百合)(赤澤啓吾)(原 智美)(山口庸子)	
事務部				
事務部長代理：中尾清司 「」は西ノ島町からの派遣職員 ()は兼務 ●は会計年度任用職員 ■は再任用職員				
部署名	所属長	係 名	係 長	係 員
総務課	(中尾清司)	総務係	「山根充大」	山根久美子 倉上朱莉 ■小島泰子 ●木村祐子
		財務係	(中尾清司)	
医事課	(中尾清司)	医事係	(中尾清司)	永瀬 進 山岸隆祐 足立麻衣 ●澤谷真由美 ●小前幸代
				●岩崎美夏 ●三島明香 ●萬田朋世 ●伊藤佳代子

【隠岐島前病院に勤務する職員は、島前町村組合からの派遣職員】

消防本部・隠岐島消防署			() は兼務 ■ は再任用職員	
消防本部				
消 防 長：田中井和幸 消防次長：井上定彦				
課 名・部署名	所属長	係 名	課長補佐・係長・副所長	係 員
総務課 ☎08512-3-0119	(井上定彦)	経理係	是津秀樹	
		庶務係	重栖八重美	藤野達矢
島根県防災航空隊派遣				佐々木啓介
初任教育				滝本大樹
予防課 ☎08512-2-2307	佐々木肇	予防係	齊藤義幸	戸田正郎
		危険物係	田黒大輔	
警防課 ☎08512-2-2300	黒澤 聡	警防係	澤田敏夫	村上誠宗
		救急救助係	西藤慎吾	野津和也
通信指令室	(黒澤 聡)	通信指令室係	増本 勝	
隠岐島消防署				
本署 ☎08512-3-0119	田中 勤	第一係	福浦圭一	石井 慎 村田竜也 坂本雄太 吉田輝哉
				的地大輔 高宮 渉 八原 涼 増原良平
				松田寛人 石川大志 石橋脩斗
		第二係	渡邊秀幸	竹本昭二 吉塚勇気 佐竹真人 吉田航介
				吉田亮一 伊藤浩志 升田大貴 山根啓徳
				石橋一輝 竹本一生 藤田大翔
島前分署 ☎08514-6-1119	井澤 聡	第一係	梶谷軍次	三角和成 角崎将仁 安部一徳 笠置健太郎
		第二係	若林隆造	柳谷幸雄 福田浩一 黒澤竜斗 齋藤朝日
海士出張所 ☎08514-2-1119	間瀬純次	第一係	中上弘樹	駒月 誠 恩田祐也 松本飛来
		第二係	堂下友見	重栖隆彦 八幡 航 大野 達
知夫出張所 ☎08514-8-2119	■安藤宏伸	第一係	永海克徳	堀川遼太郎 原田敬宏
		第二係	矢谷弘明	牧野泰志 藤野史弥

隠岐広域連合 新規採用職員紹介

令和3年4月1日に採用となった職員をご紹介します。



【消防本部】		【隠岐島前病院】		【隠岐病院】	
安藤 宏伸	島前分署長	常盤比呂子	外来看護科准看護師	小出 博己	名誉院長
久永 吉人	消防長	田中めぐみ	四階病棟看護科副主任看護師	有田 茂夫	副院長
藤田 正峯	消防次長	奥地 幹奈	技術科理学療法士	崎 美樹	看護部長
		正木 暁	総合診療科医師	青砥 優子	外来看護科副師長
		宋本 暁承	総合診療科医員	齋賀 京子	三階東病棟看護科主査看護師
		田中 智章	眼科医長	田中 孝明	整形外科部長
		舩金 聖也	小児科医長	田中 誠宗	消防士

隠岐広域連合職員退職者一覧
令和3年3月31日付け

新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免について

新型コロナウイルス感染症の影響により、世帯の主たる生計維持者の収入が減少し、一定の要件を満たす第1号被保険者（65歳以上）の方は、申請により介護保険料の減免を受けることができます。

対象者

- ① 世帯の主たる生計維持者が死亡又は重篤な傷病を負った第1号被保険者
- ② 世帯の主たる生計維持者の事業収入・不動産収入・山林収入・給与収入の減少が見込まれ、次の両方に該当する第1号被保険者
 - 事業収入等のいずれかの減少見込額（保険金等により補てんされる金額を控除した額）が、令和2年の当該事業収入等の額の3割以上であること
 - 減少することが見込まれる事業収入等に係る所得以外の令和2年の所得の合計額が400万円以下であること

対象となる介護保険料

令和3年度分の保険料で、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間に納期限があるもの

お問合わせ先

隠岐広域連合介護保険課
電話 **08512-6-9151**

※詳細は隠岐広域連合介護保険課のホームページにも掲載しています。ご不明な点はお電話等にてお問合せください。

令和3年第1回隠岐広域連合議会 定例会

令和3年2月10日に隠岐広域連合議場において開催され、次の議案を上程し、原案のとおり全会一致で可決されました。

条例の一部改正（7件）

隠岐広域連合立隠岐病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

隠岐病院の診療科について、糖尿病専門領域に対応するため、新たに「糖尿病・内分泌内科」を設置し、また、「救急科」については、「総合診療科」で対応することとするため、所要の改正を行いました。

隠岐広域連合介護保険条例の一部を改正する条例

令和3年度から令和5年度までの、「第8期介護保険事業計画」策定に伴う介護保険料基準額、及び介護保険法施行令の一部改正に伴う関係条文について所要の改正を行いました。

隠岐広域連合指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

介護保険法の規定に基づく関係省令の改正に伴い、関係条文について所要の改正を行いました。

隠岐広域連合指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

介護保険法の規定に基づく関係省令の改正に伴い、関係条文について所要の改正を行いました。

隠岐広域連合指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例

介護保険法の規定に基づく関係省令の改正に伴い、関係条文について所要の改正を行いました。

隠岐広域連合指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

介護保険法の規定に基づく関係省令の改正に伴い、関係条文について所要の改正を行いました。

隠岐広域連合火災予防条例の一部を改正する条例

「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令」の一部改正により、関係条文について所要の改正を行いました。

令和2年度2月補正予算

	補正前予算額	補正額	補正後予算額
一般会計	4億5,441万円	△ 584万円	4億4,857万円
介護保険事業特別会計	34億2,859万円	△ 875万円	34億1,984万円
隠岐島前病院事業特別会計	11億6,768万円	7,050万円	12億3,818万円
隠岐病院事業特別会計	35億2,321万円	2億4,754万円	37億7,075万円
消防事業特別会計	6億9,556万円	△ 583万円	6億8,973万円

★主な内容は、以下のとおりです。

一般会計

決算見込に伴う不用額の減額補正。

介護保険事業特別会計

決算見込に伴う不用額の減額補正。

隠岐島前病院事業特別会計

決算見込に伴う不用額の減額、材料費、経費及び令和元年度決算による特別損失の増額補正。

隠岐病院事業特別会計

決算見込に伴う不用額の減額、材料費、経費及び令和元年度決算による特別損失の増額補正。

消防事業特別会計

決算見込に伴う不用額の減額補正。

令和3年度当初予算

	本年度予算額	前年度予算額	比 較
一般会計	5億4,134万円	4億8,288万円	5,846万円
介護保険事業特別会計	33億8,570万円	33億6,571万円	1,999万円
隠岐島前病院事業特別会計	10億2,464万円	10億6,392万円	△ 3,928万円
隠岐病院事業特別会計	35億2,142万円	33億3,478万円	1億8,664万円
消防事業特別会計	6億4,221万円	6億9,736万円	△ 5,515万円

★主な内容は、3P「令和3年度隠岐広域連合予算の概要」に記載しています。

一般質問

○ 村上三三郎議員 「全世代型社会保障制度改革による影響について」

政府が予定している後期高齢者の医療費窓口負担増に対する影響と、それについての支援策等について、次の点について質問する。

【問】 この施策により、1割から2割に負担増になる隠岐圏域の人は、何人になるか。

【答】 後期高齢者の医療費窓口負担を1割から2割に引き上げる医療制度改革の詳細が、断片的に示されていることから、正確な対象者は推計できないが、例えば、「単身世帯で、住民税課税所得28万円以上かつ年収200万円以上（現役並所得者を除く）」という条件で対象者を抽出した場合、隠岐4町村全体で560人程度、町村別では、海士町100人程度、西ノ島町50人程度、知夫村10人程度、隠岐の島町400人程度である。

【問】 この施策により、治療の抑制につながる恐れがあるが、これに対する支援策を用意しているか。

【答】 隠岐広域連合は、特別地方公共団体であることから、独自で当該施策に対し支援することは難しいと認識している。

【問】 この施策に対して、国や県に対して反対の意見を表明する用意をしているか否か。

【答】 本施策は、国の社会保障制度改革の柱であり、この度の通常国会で議論されようとしている法案であることから、現時点で反対の意思を表明することは考えてない。

○ 吉田雅紀議員

【問】 「新型コロナウイルスワクチン接種に向けての取り組み状況について」

新型コロナウイルスワクチン接種については、各町村単位での計画となろうが、圏域の中核的2病院を経営する広域連合として情報の取りまとめ、自治体と病院との連携、住民への周知など一元的役割を担うべきと考えるが、進捗状況及び見解を伺う。

【答】 現時点でのワクチン接種の体制やスケジュールについては、医療従事者については3月中旬の体制確保を目標とし、高齢者については4月開始となっている。4月以降の高齢者をスタートとする住民向けワクチン接種については、町村が実施主体となり、その際のワクチン接種に対応する医療従事者については、隠岐の島町においては、隠岐病院、町立診療所、開業医を含めた対策チームを立ち上げて取り組みが始まったところである。なお、ワクチン接種に対応する超低温冷凍庫については、医療従事者向けワクチン接種後に、それぞれの町村に配置予定となっている。全国民対象のワクチン接種となる中で、特に離島である隠岐圏域では、限られたワクチン数を限られた期間で接種するためには、本土との調整が難しいことなどを考察すると、連携がより重要となるが、情報が混乱しないよう、実施主体の構成町村と協議、調整のうえ対応したいと考えている。

【問】 「地域包括ケアシステムを支える人材の確保について」

介護需要が増加する一方で、担い手不足は深刻な状況が懸念される中、地域包括ケアをどのように進めていく考えであるか伺う。また、ロボット化・省力化・効率化のための基盤整備への現場支援をどう考えているか。加えて、役場の福祉担当部署や社会福祉協議会との連携を含め、限られた人的資源をワンチームとして協働に向けていく必要性を感じているが所見を伺う。

【答】 地域包括ケアシステムを推進するということは、単に後期高齢者急増という社会的課題の解決を目指すということではなく、その課題を切り口として少子高齢化、人口減少、経済の停滞、人材不足といった様々な変化や関係性を踏まえ、隠岐4町村や島根県など関係機関と連携を図りながら解決がなされるものと考えている。そのため、介護保険課を事務局とした「隠岐圏域地域包括ケアシステム推進委員会」では、人材確保対策、介護サービス基盤の充実、多職種連携などを柱として、隠岐4町村福祉担当部署や社会福祉協議会、更には福祉施設で構成する隠岐地区老人施設研究協議会などを交えた議論を重ねている。介護ロボットの普及については、地域医療介護総合確保基金を活用した、装着型パワーアシストや歩行アシストカートなどの導入に向け、福祉施設を招いた展示会の実施などを行い、導入支援を積極的に図っていくよう検討しているところである。

【問】 「医師招聘対策について」

独自の医師招聘対策の強化について、具体的にはどんなことをやっていく考えであるか。また、コロナ患者の受け入れで医療体制が逼迫する都市部では、看護師の離職も相次ぎ、派遣看護師のマーケットに変動を与えるのではないかと。こういった雇用環境の変化を捉え新たな確保対策に活かすべきだと思うが、マーケットの変化への対応はどうなっているか伺う。

【答】 医師招聘については、島根県及び島根・鳥取大学からの派遣に加え、平成29年に隠岐病院内に設置した「島の医療人育成センター」を中心に、初期臨床研修を修了した3年目以降の専攻医等の研修受け入れに取組んでいる。また、隠岐にゆかりのある医師について、様々な情報をもとに作成したリストを活用し、院長自ら手紙を出し隠岐病院の状況など理解いただき、積極的な招聘活動を行っている。看護師のマーケットの変化については、日本看護協会の報道によると、新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れた病院の2割で、看護師の離職が見られたとのことである。常にアンテナを張り、情報収集に努めながら看護師などの人材確保対策を講じていく所存である。

【問】 「隠岐圏域精神科医療支援連絡会議について」

隠岐圏域精神科医療支援連絡会議は、どのような目的の下に設置されているのか。また、島根県保健医療計画の中でどう位置付けられているのか。さらに、第四の障がいと言われる発達障がい者の状況はどうなっているか。近年の精神障がい者保健福祉手帳及び精神通院医療の該当者数の推移も併せて伺う。

【答】 隠岐圏域の精神科医療を守るため、大学などからの常勤医派遣や診療支援を充実することを目的として、隠岐圏域に近い医療機関等に理解をいただき、平成29年度に本連絡会議を設置した。また、「島根県保健医療計画」にも隠岐圏域編の精神疾患の施策の方向に位置付けられることで確認している。発達障がい者については、必ずしも隠岐圏域の病院などに関わっていない場合も考えられ、隠岐広域連合では全体を把握出来ていないが、精神障がい者保健福祉手帳及び精神通院医療該当者数は、それぞれ470人と216人という状況である。

【問】 「隠岐病院経営計画の改善ポイントと効果について」

隠岐病院の経営については令和元年度から、外部経営コンサルタントの指導の下、経営計画を策定し実行に移されているところであるが、医業収益と医業費用の均衡を図っていくための改善ポイントについて、説明を願う。その中でも改善計画の考えから効果の片りんが捉えられるものがあれば紹介を願う。また、令和3年度隠岐病院事業特別会計予算案において、企業としての独立採算制を追求した成果はどう表されているか、説明を願う。

【答】 基本的な考えは、構成団体とのルールである「繰り出し基準」内の財政負担となるよう、医業収益の増収と医業費用の削減を計画するものである。他方、離島での安心の医療を確保するため、不採算部門である産科、小児科、精神科、救急医療なども重要と考えており、構成団体に応分の負担をお願いする病院運営を目指している。医業収益増収の主なものも、地域包括ケア病床の改修工事を予定しており、年間5,500万円余りの増収を見込んでいるところである。また、診療報酬の加算取得等について、1,600万円余りの増収を見込んでいる。医業費用については、医薬品を600万円余り、メンテナンスをスポット対応に変更するなどの工夫により、1,000万円余りの削減が可能となったところである。独立採算性を追求した成果については、実行途中であり、計画の目標である令和5年度には、目標達成を図るよう取組む。

【問】 「病院事業における修学資金貸付事業の今後の展望について」

病院事業の資金的支出における「投資」である長期貸付金について、低迷が気になりである。低迷の原因をどう分析しているか伺う。また、受け身でなく積極的投資を図るためには、若者が地域の担い手となるような業態を超えて、ライフプランやキャリア教育への働きかけが必要であり、少なくとも中学校段階での啓発活動、また高校教育魅力化コンソーシアムへの参画まで踏み込むべきだと考えるが、将来の医療人材確保への展望を伺う。

【答】 直近5年間の修学資金貸付状況について、隠岐病院では1年間、6～7名の貸与者で推移していたが、今年度においては3名と半減した。また、隠岐島前病院では、平成24年度以降、貸与者はいない状況である。取組み状況については、地元の小・中・高校生を対象に意見交換会や職場体験及び職場見学の受入れを積極的に行うことに加え、県立大学出雲キャンパスに在籍する地元学生と教授とお話し、交流会を通して、常に繋がりを保つよう心掛けていく。また、高校魅力化コンソーシアムにも参画し、進路・進学において医療従事者を目指していただくよう取組んでいる。

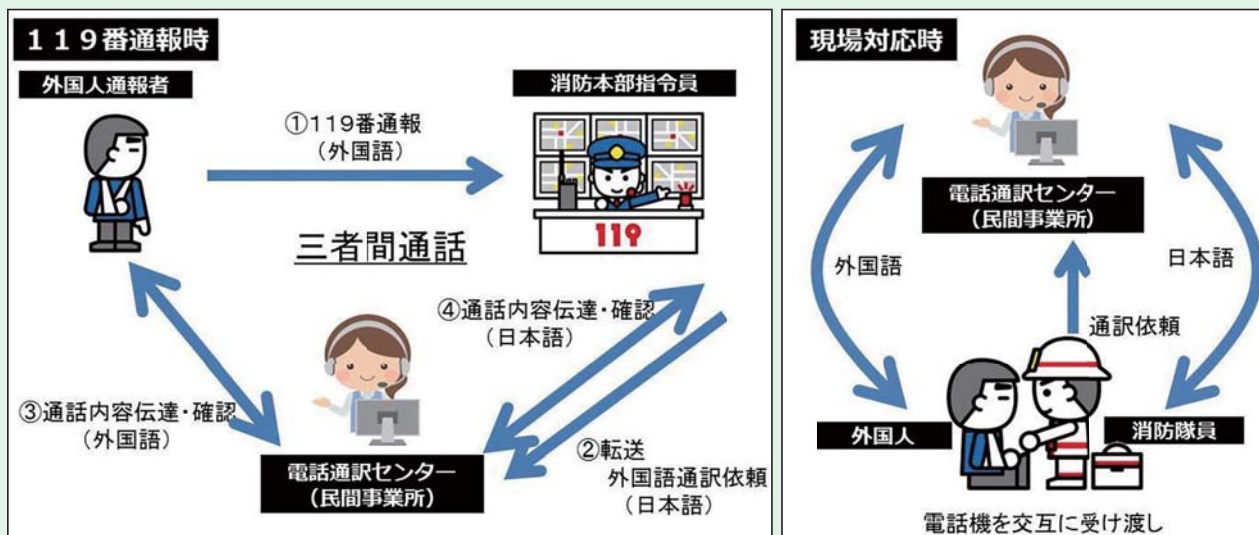
消防署への緊急通報に係る新システムの導入について

三者間同時通訳システム

－119番通報の多言語対応－

令和3年5月1日
運用開始

- ◆電話通訳センターを介して日本語が話せない外国人の方からの119番通報に24時間対応するシステムです。



主な対応言語（令和3年現在）

英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、マレー語、ネパール語、タガログ語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語

NET119緊急通報システム

－聴覚や発話に障がいのある方のための通報システム－

運用開始に向け
整備中

- ◆聴覚・言語機能が不自由で音声による119番通報の困難な方が、スマートフォン等のネット機能及びGPS機能を利用して消防署へ通報するシステムです。「救急」「火事」の別と通報者の位置情報を入力すれば、即座に消防署に繋がります、その後にテキストチャットで詳細を確認する仕組みとなっています。（利用には事前登録が必要となります）



※NET119緊急通報システムは、令和3年度中の運用開始に向け現在整備中です。改めて運用開始、その他利用方法の詳細については、消防本部ホームページ等に掲載してお知らせいたします。